

定期健診を受けた人と 受けない人では、 将来にこんな違いが!

定期健診を受けた人と受けない人とでは、将来の歯の本数に違いがでます。定期的に歯科健診を受けた人は健診を受けなかった人に比べて圧倒的に残っている歯の本数が多いのです。

厚生労働省の調べでは、歯科の定期健診に通う人が大多数のスウェーデンにおいては、80歳時点での残存歯は平均21本、それに対し、日本における80歳時点での残存歯は平均13.9本となっ

ています。ちなみにスウェーデンも40~50年ほど前までは、日本と同じように定期健診に通う人は少なかったため、日本とほぼ似たような状況でした。



定期健診を受けると 医療費もおさえられます!



定期健診を受けていると、治療が必要な箇所が見つかったとしても、早期の発見により簡単に治療できる場合が多いのです。反対に、定期健診を受けていないと、痛みなどの異常が出るまで受診しない事が多く、治療に回数と時間・費用がかかる事が多くなります。

“定期健診に通うと医療費がかかる”と思う方も多いのですが、実は定期健診は医療費をおさえる事ができるのです。また、お口の中が健康であり続けることで、体の病気の予防にもつながり歯科以外の医療費が抑えられます。



定期健診を受けましょう



定期健診は、自分の歯をできるだけ長く健康に保つために大切です。歯は一度失ってしまったら、再び元に戻ることはありません。40代以降、歯を失う人は急激に増加しはじめます。早いうちに定期健診を習慣にしましょう。

審美治療や矯正治療で キレイな歯並びと 正しいかみ合わせを!



歯並びが悪くて気になるという方も多いのではないのでしょうか。歯は、顔の真ん中に位置していて、笑った時などに見えるので、歯並びが悪いと見た目の雰囲気にも影響します。

見た目に重要な“歯並び”ですが、実は見た目だけでなく、お口や身体の様々な機能に影響を及ぼすのです。



歯並びが悪いとこんなデメリットが!



むし歯になりやすい

歯並びが悪いとデコボコの部分に細菌がたまりやすく、歯磨きをしても汚れが取れにくいのでむし歯になりやすくなります。



歯周病が悪化しやすい

歯が重なり合っている所などは、歯を支える骨(歯槽骨)が薄く弱いので、歯周病が急激に悪化しやすくなります。



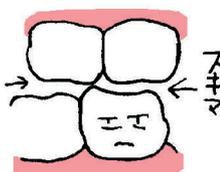
顎関節症になりやすい

歯並びが悪いとかみ合わせが安定せず、顎の関節に負担がかかりやすくなります。



咀嚼機能が悪くなる

歯並びが悪いと上下の歯がしっかりかみ合わず、咀嚼が悪くなります。



発音に影響する

舌や唇が動かしづらいと、滑舌が悪くなる場合もあります。



見た目が悪い

歯並びの悪さがコンプレックスになったり、見た目の印象にも影響します。

